

## 第2回徳島県教育振興審議会について

教育創生課

## 第2回徳島県教育振興審議会 会議概要

1 日 時 令和5年3月23日(木)  
午後1時から午後3時まで

2 場 所 徳島県庁10階 大会議室

3 出席者

(1) 委員 22名中20名出席

(2) 県 教育長及び教育振興計画策定検討会議会員25名出席

4 議事概要

(1) 次期「徳島教育大綱」骨子(案)・構成について

(2) 「教育に関する県民意識調査」の結果について

(3) 「徳島県教育振興計画(第4期)」骨子(案)について

(4) 意見交換

5 意見交換において委員から出された主な意見

**(1)重点項目Ⅰ「DX・GXを先導！未来を拓く力を育む教育の推進」**

- ・学習履歴などのデータ利活用による個別最適な教育の推進には、データサイエンスに精通した教員の養成が不可欠である。

**(2)重点項目Ⅱ「志高く夢に挑戦！個々の特性を活かした確かな学びを育む教育の推進」**

- ・「キャリア教育人材バンク」等、各学校で円滑にキャリア教育を推進するためのシステム構築に係る取組を、県教育委員会で行ってほしい。
- ・徳島ならではの、小中高一貫したキャリア教育に係るガイドラインの作成や教材開発に取り組む必要がある。
- ・幼児教育と小学校教育との円滑な接続に向けて、「子供の育ちと学びをつなぐスタートカリキュラム」に基づき、連携を図ることが重要である。

**(3)重点項目Ⅲ「共生社会の実現！全ての人の可能性を引き出し、多様性を育む教育の推進」**

- ・障がいのある児童生徒が、将来、社会に参画するには地域の方々の理解が重要である。地域連携や地域貢献活動を通して、一層の理解を深める取組が必要である。
- ・共生社会の実現に向けて、男女共同参画の取組に関する内容を本計画に盛り込むことは意義深いのではないかと。
- ・人権教育、道徳教育、生徒指導は、不易と流行の不易の部分として、継続して取り組むことが大切である。

#### (4) 重点項目Ⅳ「生涯いきいき！人生100年時代のマルチステージで輝く教育の推進」

- ・変化の激しい時代を生きていくために、リスキリングなどの機会を通して、知識・スキルをアップデートして社会の変化に対応できるようにすることが重要である。
- ・人生100年時代を迎え、リカレント教育がますます重要性を増している。教育の対象を一定の年齢層に区切るのではなく、全世代対応型でこれからの教育を考える必要がある。

#### (5) 重点項目Ⅴ「共に学び支える！地域・家庭・学校がつながり、協働する教育の推進」

- ・骨子(案)では、コミュニティ・スクールは、「重点項目Ⅴ」に位置づけられているが、当該制度は学校運営の仕組みそのものであるため、「重点項目Ⅱ」にも位置づけてほしい。
- ・教職イメージの低下や教員のなり手不足が全国的にクローズアップされる中、教員が誇りとやりがいを持って働ける環境にするための取組が必要である。
- ・「徳島県で教員になろう！フォーラム」等、本県教育を知る機会を確保するとともに、意欲ある学生の資質向上に努め、教員の安定的な確保と資質向上に繋げてほしい。

#### (6) 重点項目Ⅵ「レガシー継承！『徳島ならではの』の歴史・文化・スポーツが躍動する教育の推進」

- ・地域や郷土の歴史・文化等について理解を深めるには、「本物に触れる」ことが有効である。そのためには、教員、生徒が地域に出向くとともに、地域人材を活用する必要がある。
- ・トップアスリートの育成・強化のためには、近隣の中学校・高校で合同練習会を実施するなどして、競技力の向上や、アスリートの意識づけに繋げる必要がある。

#### (その他)

- ・徳島県の教育振興計画として何を盛り込むべきなのか、徳島ならではの教育として取り組むべきものをメリハリをつけて取り入れる必要がある。
- ・教育大綱の理念や教育振興計画の内容を日々の教育活動に生かすためには、教職員研修などの機会を通じて、当該内容の一層の浸透を図る必要がある。

# 「徳島県教育振興計画(第4期)」骨子(案)

基本方針	重点項目(6項目)	推進項目(18項目)	施策の方向性(37項目)	関連する施策・取組等	第1回徳島県教育振興審議会における主な意見
未来社会の創り手として果敢に挑戦する、夢と志あふれる「人財」の育成	I DX・GXを先導！未来を拓く力を育む教育の推進	1 学びを豊かにする教育DXの推進	①GIGAスクール構想の更なる展開	・徳島県GIGAスクール構想推進事業 ・GIGAスクール運営支援センター ・GIGAスクールサポート人材配置事業 ・徳島県学校教育情報化推進計画に係る取組	・GIGAスクール構想を成功させるためには、学力のとらえ方を含めて検討が必要がある。 ・IT人材が不足している。DXを推進し、人材を育ててほしい。 ・紙とデジタルのベストミックスを追求することが不可欠である。 ・メディアリテラシーの育成に取り組んでもらいたい。 ・ICT環境の整備を図ってほしい。 ・とくしまGXスクールの全県展開。 ・大阪・関西万博を見据えた取組を推進してもらいたい。 ・コミュニケーション重視の英語教育の充実が必要である。 ・グローバル人材の育成に向けて、英語学習のモチベーションをあげることが重要である。
			②「Society5.0」を牽引！先端技術を活用した教育の推進	・教育データ活用推進事業 ・全国屈指の光ブロードバンド環境の活用 ・ビッグデータ活用	
			③ICT活用による個別最適な学びと協働的な学びの一体的推進	・ICTを活用した児童生徒の資質・能力の育成 ・遠隔教育推進事業 ・テレビ会議システム ・情報モラルに係る取組	
		2 持続可能な社会を実感する「徳島ならではの」教育の推進	④未来につながる環境教育！とくしまGXスクールの推進	・とくしまGXスクール推進事業	
			⑤徳島発！サステナブルな社会に向けたエンカール消費教育の推進	・エンカール消費教育推進に係る取組 ・特別支援学校「エンカールチャレンジ」事業	
		3 世界と徳島をつなぐ！グローバル人材の育成	⑥確かな英語力を育む教育の推進	・世界スタンダード英語4技能育成事業 ・小学校英語専科教員の配置	
				⑦世界を体感する教育の充実	
	II 志高く夢に挑戦！個々の特性を活かした確かな学びを育む教育の推進	4 個性・能力を伸ばし、可能性を拓く教育の推進	⑧確かな学力を育成し、豊かな人生を切り拓く教育の推進	・個別最適な学びと協働的な学びの推進 ・消費者教育、主権者教育 ・キャリア教育 ・初等中等教育の連続性ある学びの充実	・様々な職業に触れたり、キャリアパスポートを活用したりして、社会に出たときに必要となる能力や態度を身につけてもらいたい。 ・若者が地元に残る施策としてのインターンシップの必要性。 ・幼稚園の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う大変重要なものである。 ・成功体験や失敗体験などを通して精神的な豊かさを育む教育をめざしてほしい。 ・子供の身体能力の低下に危機感を覚えている。 ・フェリススクール、ハッケーズスクールといった新しい学校の取組を進めてもらいたい。
			⑨人間形成の基礎を培う幼児教育の振興・充実	・質の高い幼児教育の推進 ・幼稚園等と小学校の連携推進	
		5 成長を支える「豊かな心、健やかな体」の育成	⑩心豊かに生きる教育の推進	・道徳教育の推進 ・読書活動の推進 ・体験・交流体験等の推進	
			⑪心身の健康の増進と体力向上を促進する教育の推進	・児童生徒の体力・運動能力の向上 ・健康教育の推進 ・徳島県学校食育推進パワーアップ作戦	
		6 持続可能で魅力ある教育環境づくり	⑫未来に輝く、魅力ある学校づくり	・デュアルスクール ・高校を拠点とした地方創生の推進 ・高等学校の特色化・魅力化 ・私立学校の振興	
				⑬新たな価値を生み出し、地方創生につなげる教育の推進	
	III 共生社会の実現！全ての人の可能性を引き出し、多様性を育む教育の推進	7 一人ひとりが輝く「新時代の特別支援教育」の推進	⑭「ダイバーシティとくしま」の実現	・新時代対応「国府支援学校整備事業」 ・新時代「特別支援学校SDGs」創出事業 ・社会で活躍サポート事業	・共生社会に根差した教育推進の必要性を実感している。 ・スクールワイドPBSの取組は非常に有意義。 ・特別支援学校の生徒の就労に向けた取組。 ・子供たちの身の回りには様々な人権問題がある。教育大綱や教育振興計画に人権教育をしっかりと位置づけるべき。 ・不登校児童生徒の学びの機会の保障。 ・スクールカウンセラー等の派遣の充実を含め、不登校児童生徒等への対応のより一層の充実が必要である。
			⑮「ポジティブ行動支援」の更なる展開	・特別支援教育「地域まるごと専門性向上」事業 ・発達障がい「つながる・ひろがる・はばたく」充実事業	
		8 認め合い、高め合う！共に生きる教育の推進	⑯人権教育の推進	・「あわ」じんけん講座の充実 ・人権教育研究指定校に係る取組 ・中・高校生による人権交流集会に係る取組 ・PTA人権研修等の推進・充実	
⑰教育相談体制の充実			・徳島あわっ子「愛」ネットワーク事業 ・徳島こどもサポートネット事業		
9 誰一人取り残さない教育の推進		⑱多様な学習ニーズに対応した教育の充実	・県立しらさぎ中学校の充実 ・高等学校定時制・通信制課程における学びの充実		
IV 生涯いきいき！人生100年時代のマルチステージで輝く教育の推進	10 生涯にわたって学び続けることのできる教育環境づくり	⑲帰国・外国人児童生徒に対する支援の充実	・帰国・外国人児童・生徒に対する日本語指導		
		⑲生涯にわたって学び続けることのできる教育環境づくり	・マナビセンターに係る取組 ・文化の森総合公園文化施設利用に係る取組 ・リカレント教育		
	11 学びの支援、基盤整備	⑲一人ひとりのウェルビーイングの実現をめざす教育の推進	・地域課題の解決に向けた社会教育人材の育成 ・障がい者の生涯学習推進、読書バリアフリーの推進		
		⑲学びの支援	・就学支援		
	12 健やかに成長できる環境の構築	⑲安全・安心！学びの基盤の更なる充実	・県立学校長寿命化 ・県立学校空調設備整備事業 ・安全教育		
⑲すべての子どもの安心と希望の実現に向けた取組		・ひとり親家庭等かがやく未来応援事業			
⑲ヤングケアラー支援		・ヤングケアラー支援体制構築事業			
V 共に学び支える！地域・家庭・学校がつながり、協働する教育の推進	13 地域総ぐるみの学びの推進	⑲地域・家庭・学校が一体となった「地域とともにある学校づくり」の実現	・コミュニティ・スクール	・地域とともにある学校教育、地域と一緒に創っていくという視点が重要。 ・学校全体、地域全体、社会全体で子どもたちを支えるという視点が重要。 ・コミュニティ・スクールの取組の充実。 ・働き方改革による質の高い学びの実現。 ・校務支援システムやICTの活用を期待している。 ・幼稚園を含め、教員の職場環境の改善は必ず必要。 ・教員採用試験の倍率低下が心配。教員の安定的な確保。 ・大学生のインターンシップを活用した多忙化解消。 ・個々の子どもの特性、多様性に応じた指導ができるような教員の育成。 ・教員が、発達障がいに対する理解を更に深める必要がある。	
		⑲地域の教育力向上！人づくり、つながりづくり、地域づくりの推進	・家庭教育支援の推進 ・地域学校協働活動		
	14 地域の未来を守る防災教育の推進	⑲地域と連携した防災教育の推進	・災害記録の普及・啓発 ・地域と連携した災害ボランティア		
		⑲将来の地域防災を担う人材の育成	・地域防災人材育成事業 ・防災人材育成センター等との連携 ・あわっ子防災チャレンジ		
	15 子どもたちとともに、教職員が輝く教育環境の充実	⑲学校における働き方改革の推進	・学校業務支援システム構築運営、学びの保障のための学校教育活動、教員業務支援員配置促進、あわっ子部活動サポーター(部活動指導員)配置支援、教職員のメンタルヘルスマネジメントの予防・再発防止に係る取組		
VI レガシー継承！「徳島ならではの」歴史・文化・スポーツが躍動する教育の推進	16 レガシー継承・発展！「躍動スポーツとくしま」づくり	⑲未来のトップアスリートの発掘・育成・強化に向けた取組	・とくしま競技力向上指定校事業、全国中学校体育大会開催、あわっ子運動部活動サポーター(部活動指導員)配置支援事業、リーディングハイスクール、徳島育ち競技力向上プロジェクト、医科学サポート体制の推進	・部活動の地域移行を考えるうえで、総合型地域スポーツクラブの整備・充実が必要。 ・トップスポーツ育成事業の強化。 ・徳島の選手を徳島で育てるという視点を持った取組を推進してほしい。 ・少子化の状況を踏まえた部活動の活性化施策の推進の必要性。 ・大阪・関西万博のレガシーを教育にしっかりと活かしてほしい。 ・ふるさとを誇りに思えるような教育を推進してもらいたい。 ・徳島を愛し、徳島の未来を創るために必要な取組の充実。	
		⑲生涯スポーツの普及促進	・運動部活動の地域移行 ・総合型地域スポーツクラブ		
	17 「あわ文化」の継承・創造	⑲文化芸術の継承・次代の担い手育成	・次代へ継承・文化芸術創造事業(文化芸術リーディングハイスクール、人形浄瑠璃・阿波おどり後継者育成支援) ・文化部活動の地域移行・地域連携		
		⑲4大モチーフをはじめとする「あわ文化」の創造・発信	・あわっ子文化大使・サポーターに係る取組		
	18 郷土への誇りを育む教育の充実	⑲「ふるさと徳島」への誇りと地域とつながる心を育成する教育の推進	・「あわ文化検定」に係る取組 ・人形浄瑠璃教室に係る取組		
		⑲未来につながる！世界遺産登録への挑戦	・札所寺院及び遍路道の国史跡追加指定に係る取組 ・「鳴門の渦潮」の世界遺産登録 ・「板東陣痛取容所」に係る取組		